



東京YMCA

2013 6 月号

発行所 公益財団法人東京YMCA 発行人 廣田光司
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

会員大会に114人

福島からも参加

「東京YMCA会員大会」が5月25日(土)、東陽町センターで開催され、東京YMCAを担う会員114人が集った。この大会は年に一度、会員が集まって事業活動報告・計画を確認し、委員の推挙や表彰・交流などを行うものであり、2003年に会則が改正されて以来11回目の開催となった。(広報室)

第1部「全般報告」では、また会員部運営委員は、委員長の笈川氏含む8人が任期を終えて退任。代わって7人の新たな委員が推挙された。第2部では震災支援活動

第3部は、バンド演奏を聴きながら、軽食を囲み、交流の時となった。恒例のサイレントオークションにはホテル宿泊券や蘭の鉢植えなどが並び、10万2000円が寄せられた。続く第4部では各種の表彰がされた。ボランティア・オブ・ザ・イヤーには「江戸城ファミリーウォーク」が選ばれた。また各コミュニケーションセンターで活躍したユースボランティア5人も表彰された(左)。

第5部では、フレンドシップファン্ডによりキャンプに招待している児童養護施設「東京育成園」の職員らからあいさつをいただいた。なおこの後、5月30日の評議員会で、小原武夫氏が会員部運営委員長となることと確認された。小原氏は2007年から2009年にも委員長を務められたほか、震災復興タスクチームなど多方面で活躍されている。

「東京育成園」の児童も支援フレンドシップファン্ড 経済的な理由により、東京YMCAのキャンプなど活動に参加できない子どもたちに、参加費の全額もしくは一部を補助している。数年前からは、児童養護施設で育った子どもたちが帰ってきた。泳ぐことができなかった子が泳げるようになったこともあった。園内でも「YMCAのキャンプは楽しい」という話が広がっており、参加の順番が待ちに待たれている。被災者の方々への大きな心の支えとなっているようだ。地震による被害支援の継続も大切だが、何年経っても目

「東京育成園」の児童も支援フレンドシップファン্ড 経済的な理由により、東京YMCAのキャンプなど活動に参加できない子どもたちに、参加費の全額もしくは一部を補助している。数年前からは、児童養護施設で育った子どもたちが帰ってきた。泳ぐことができなかった子が泳げるようになったこともあった。園内でも「YMCAのキャンプは楽しい」という話が広がっており、参加の順番が待ちに待たれている。被災者の方々への大きな心の支えとなっているようだ。地震による被害支援の継続も大切だが、何年経っても目

「東京育成園」から感謝 後、会場からこのファン্ডに2万円が寄付が寄せられた。YMCAのキャンプでは、園だけではできない貴重な経験をさせていたが、昨年、野尻学荘に参加した男子は、いつも斜め下を向き職員とも視線を合わせない子だったが、キャンプの後、まっすぐに晴れ晴れとした表情で「ただいま!」と帰ってきた。泳ぐことができなかった子が泳げるようになったこともあった。園内でも「YMCAのキャンプは楽しい」という話が広がっており、参加の順番が待ちに待たれている。被災者の方々への大きな心の支えとなっているようだ。地震による被害支援の継続も大切だが、何年経っても目



会場は東陽町センター1階のwell-B。今年はゆったりとテーブルを囲むスタイルで、交流を楽しみながら、終始和やかに進行された。



「The Friends」によるバンド演奏。運営委員の三代川春一さん(写真右)が所属していることから昨年に続き公演くださった。アメリカンフォークから桑田佳祐まで楽しい曲目で会場を盛り上げてくれた。

2013年度会員部運営委員

◆再任 13名

小原 武夫 (委員長)			
石井 秀夫	金丸 満雄	菰渕 光彦	
酢屋 善元	鈴木 雅博	辰馬 行男	
長澤 弘	中村 周三	藤江喜美子	
三代川春一	村杉 克己	吉田 紘子	

◆新任 7名

浅見 隆夫	太田 勝人	蔵知 浩	
小口 多津子	高嶋 美知子	蒔田 敏雄	
宮内 友弥			



↑退任委員のみなさん。右から笈川光郎氏、布上征一郎氏、佐藤茂美氏、東條めぐみ氏、張替滋夫氏。なお、当日は出席されなかったが、上谷喜謙氏、高橋伸氏、長谷川あや子氏も退任された。任期中のご活躍に会場からは盛大な拍手がおくられた。



飯 頭 (いいあきら)さんとリーダーたちが、キャンプソング「キャンパーの夢」を歌った。これは頭さんの父でありYMCA主事だった飯忍さんが作詞作曲したキャンプでの定番ソング。キャンプをこよなく愛した飯さんの記念にと昨年、飯靖子夫人から山中湖センターのクラフトショップ修繕費用約145万円を寄付いただいた。会場では感謝状が贈呈された。

名誉会員に鈴木馨氏



名誉会員として推挙された鈴木馨(すずき・かおる)氏は、「戦前、父と一緒に神田のプールを見に行ったことをよく覚えている。兄弟5人共YMCAで育てられた」とあいさつされた。鈴木氏は、明治学院を卒業後、株式会社帝国ホテルに入社。勤務のかたわら国際ホテル専門学校講師としてホテル経営論などの授業を担当し、当校の発展に大きく貢献した。常議員のほか、専門学校およびホテルの事業委員や運営委員などを歴任。多分野にわたり活躍された。

ボランティア・オブ・ザ・イヤー Volunteer of the Year

東京ワイズメンズクラブ担当 「江戸城ファミリーウォーク」

2012年度のボランティア・オブ・ザ・イヤーは「江戸城ファミリーウォーク」が選ばれた。これは、江戸城にちなんだ講演を聴き、江戸城の内外を歩く活動で、年1回開催。今年28年目を迎える。一昨年には徳川恒孝(つねなり)氏を講師に迎えるなど、毎年趣向を凝らした内容で、歴史と文化の再発見、環境や平和への啓発に貢献している。ボランティアによる解説や交流も楽しく、リピーターも多い。東京ワイズメンズクラブが全力をあげて担当している。

ユースボランティア・オブ・ザ・イヤー Youth Volunteer of the year



当日出席したボランティアリーダーたち。(写真右から)保坂さん、豊田さん、安藤さん

保坂 真央さん(東陽町センター)

幼児の定例野外活動や小学生のシーズンキャンプのほか、リーダーズキャンプなどにも積極的に参加。大学4年生として、東陽町センターを引っ張っている。

豊田 慈恩さん(山手センター)

幼児の野外活動やキャンプ、福島の親子のためのリフレッシュキャンプなどに携わる。本人もかつては参加者で、YMCA歴が長く、山手センターの中心的存在として貢献。

安藤絵理奈さん(西東京センター)

健常児、障がい児・者プログラムなど幅広い分野で活躍。リーダー歴4年のベテランで、社会人になった今も、リーダーたちの中で指導者の立場となって健闘している。

黒澤 利恵さん(江東センター)

野外やグループ活動など様々なプログラムに参加。江東幼稚園の卒園生で、社会人となってからも江東YMCAを支えてくれている。

高萩 慶太さん(南センター)

昨年度は、小学生の定例活動と幼児の活動に休まず参加し、「W(ダブル)皆勤」を果たした。そのチャレンジ精神と責任感、他のリーダーへの刺激にもなっており、大学4年生となった今年も活躍が期待されている。

この5~6年間、南センターや会員部の委員として関わる中で、徐々にYMCAの使命が見えてきた。奉仕している方々の情や思いを感じた。職員の熱心な活動は一般企業では考えられないほどだ。3.11の大震災後の素早いボランティア活動等素晴らしい行動である。被災者の方々への大きな心の支えとなっている。被災者の方々への大きな心の支えとなっている。被災者の方々への大きな心の支えとなっている。

赤三角

この5~6年間、南センターや会員部の委員として関わる中で、徐々にYMCAの使命が見えてきた。奉仕している方々の情や思いを感じた。職員の熱心な活動は一般企業では考えられないほどだ。3.11の大震災後の素早いボランティア活動等素晴らしい行動である。被災者の方々への大きな心の支えとなっている。被災者の方々への大きな心の支えとなっている。

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

